



公設小売市場跡地利用

酒井 信幸

問 昨年第3回定例会での市長答弁では、公設小売市場の跡地利用については、今後、さまざまなご意見をいただきながら、活用を考えていきたいと思えます、とのことだったが、あれから1年が経過して、跡地利用の計画はあるのか。

市長 市中心部に残された貴重な土地だと思います。利用については、いわねま未来構想の具現化に向けて活用していきたいと思えます。地方創生の中で総合戦略に位置付けをして、市民のためにどのように活用したらいいのか、さらに議論していきたいと考えます。地域の皆さまの意向を確認して、その後に利用計画を示したいと思えます。

中央憩いの家整備しては

問 住民や子どもから高齢者が集う「(仮称)中央憩いの家」の整備を図ることが望ましいと思う。近隣の方々にも呼び掛けて話し合い、意見等を聞くことを、早急に進めるべきと思うがどうか。

市長 できるだけ意見を聞きながら、

ら、地域の方に使い勝手がいいように利活用を図っていききたいと思えます。もう少し時間をいただければと思えます。



公設小売市場の跡地

問 何年ぐらいを目途と考えているのか。

市長 全体事業のバランスを見ながら、そして財源も確保しながら、地方創生の戦略をつくる中で具体的な日程を考えていきたいと思えます。

◎その他の一般質問

・仮設・みなし仮設入居者の今後



いわねま未来構想を踏まえたまちづくりの推進

布田 一民

問 価値観や問題意識を共有する市民一人一人が、つながりながら、社会問題の解決に向けて動き出している。市民が作り出す公共的な広がりに対して、地域における新たな支え合いを考える中で、従来のコミュニティ活動における問題点をどのように捉えているか伺う。

市長 大震災において、市としても対応しましたが、行政側だけでは限界を感じました。地域コミュニティを再生することが大事である、改めて認識しています。

「コミュニティ再構築を

問 新たな地域のコミュニティの再構築が必要と考える。企業も含め大学、色々な体験をしている住民も含め、地域外の第三者とも構築を図るべきではないか。

市長 少子高齢化の進展に伴う中で、高齢化対策や子育て、それから環境、防犯といった多くの二重にも複雑化しています。行政だけでは難しいこともありますので、一丸となって解決に向けて取り組む

むことが必要だと思えます。

問 地域の課題である環境、防犯、介護、子育てなど社会環境の変化により生じた新たな課題である「一人暮らしの高齢者の増加・それに伴う介護・孤独死の増加・子育て家庭の孤独等」が各地で社会問題化している。それに対応するために各地域で取り組んでいる、また、取り組もうとしている事業を発表する「(仮称)地域コミュニティコンテスト事業」を行うかどうか。

市長 課題解決に向けた成果なども発表していただけるのは、大変いいことであり、研究をしてみたいと思えます。

問 地域の資源や、民間資金を活用し、資金調達手法の市場の活性化もしっかりと図りながら、あらゆるメニューで推進させていく必要があるのではないか。

市長 地域資源の活用は求められたいと思えます。国の特区や規制緩和などを見ながら、コミュニティも含め考えていきます。